

## 町の安全・安心を守る消防団 令和5年白鷹町消防団訓練査閲を実施

白鷹町消防団（佐藤貴光 団長）による令和5年度訓練査閲が役場駐車場を会場に開催されました。

訓練査閲は、消防ポンプの確実な取り扱いと基本動作を身に付け、技術の向上、士気高揚を図り消防力強化の確立を目指し行われるものです。ポンプ車・小型ポンプごとに操作が行われ、猛暑の中、これまでの訓練の成果を遺憾なく発揮し、各班とも素晴らしい訓練を行いました。



佐藤町長（右）小野桶川市長（左）  
大野埼玉県知事（中央）



## 紅花を通してつながる縁 埼玉県桶川市と紅花友好都市協定を結ぶ

本町と埼玉県桶川市は6月17日に「紅花友好都市協定」を結びました。両市町は、紅花をまちづくりや観光PRのシンボルとしており、2015年度から交流を深めてきました。本協定では、紅花を通じてつながった縁を大切に、紅花文化の保存・継承に努め、観

光などの幅広い分野での交流を通じ、互いの発展と恒久的な友好関係を構築するとしています。

調印式は、「べに花まつり」会場の、桶川市城山公園で行われ、佐藤町長と小野克典桶川市長が協定書を交わし、大野元裕埼玉県知事が見届けました。

## 県民みんなで支える森づくり 緑の少年団 やまがた森の感謝祭2023

6月3日に県民の森（山形市）で開催された「やまがた森の感謝祭2023」に白鷹町緑の少年団（東根小学校5年生17名）が参加しました。

この催しは、みどりを育む県民運動として、県内各市町村の緑の少年団が参加して行われ、盛大なセレモニー、記念植樹、森林散策などが行われました。白鷹

町緑の少年団も記念植樹や森林散策で県内各地から参加した緑の少年団と交流を深め、楽しく活動を行いました。

山形県緑の少年団連盟の会長を務める佐藤町長も出席し、参加した子どもたちと一緒に記念植樹を行いました。「大変有意義な時間でした。」と話しました。



参加した児童で記念撮影

### 永年にわたる業績をたたえー 東北管区行政評価局長表彰を受賞

この度、行政相談委 嘱を受け、住民と行政員の田中恵治さん（畔藤）が永年の業績をたたえられ、東北管区行政評価局長表彰を受賞されました。行政相談委員は総務大臣から委



表彰状を掲げる田中さん

### 地域から愛される図書館にー 白鷹町立図書館 来館者数10万人を突破



記念品を受け取る  
菅原さん家族（中央）

令和元年6月にリニューアルオープンしてから約4年、白鷹町立図書館（中川栄子館長）では6月26日に来館者が10万人を突破し、記念セレモニーを行いました。10万人目の来館者は、長井市から訪れた菅原望楽ちゃんで、母の佳織さん、祖母のひろみさんと初めて訪れました。衣袋教育長から図書カード1万円分、図書館からは、物語（中川館長著）、スタッフ手作りの工芸品が記念品として贈られました。白鷹町立図書館では、来館者が楽しめるようにと、さまざまな工夫を凝らした展示や企画、多数のイベントを行っています。中川館長からは、「地域に一層愛される図書館を目指していきます。これからも町立図書館をご利用ください。」と今後への抱負を語っていただきました。

### 地域おこし協力隊 笹本富士子さんが退任、集落支援員へ 井上奏風さんが着任 鷹山地区を中心に農業に従事



感謝状を受け取る笹本さん（右写真）  
委嘱状を受け取る井上さん（左写真）

本町の地域おこし協力隊として活動してきた笹本富士子さん（埼玉県出身）が退任され、6月23日に退任式が行われました。笹本さんは令和2年4月に地域おこし協力隊として着任し、主に紅花栽培の支援をいただきました。また、任期中には6次産業化に関するビジネススクールに通い、商品開発について研究し、紅花の新たな商品化にも力を注いでいただきました。また7月より、新たに井上奏風さんが協力隊に着任しました。今後、鷹山地区を拠点に農業に従事し、地域の一員として同地区を盛り上げていただきます。

### 町の観光振興と発展に永年にわたり尽力ー 山形県観光物産事業功労者表彰を受賞

この度、梅津トシ子（荒砥乙）さんに、山形県観光物産事業功労者表彰が授与されました。梅津さんは「しらかたか旅先案内人」として、永年にわたり白鷹町の観光案内に取り組みとともに、同団体会長在任時は、養成講座を企画するなど、組織の育成・発展に尽力されました。受賞、誠にありがとうございます。



表彰状を掲げる梅津さん